

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

12

December
2023

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



2023年度女性部運営メンバー



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2023年度スローガン

人を生かす経営の実践で

新時代にチャレンジしよう

中小企業の海外展開を考え合う学習会開催

10月24日、組織委員会主催の学習会が「中小企業の海外展開を考える」をテーマとして開催されました。

冒頭、挨拶に立った菅原代表理事は、「国内市場がシュリンクしていく今、国では新規輸出1万者支援プログラムを開始し、ジェットロさんをはじめとする機関が様々な支援にあたっている。日本のいいものを海外に展開することで企業価値を高め、地域を活性化させることが重要。今回は、輸出の取り組み事例も伺い、海外展開について考える機会としたい」と述べました。



最初に、ジェットロ(日本貿易振興機構)山形貿易情報センターの秋間かをる係長から、「初めての海外展開とジェットロの支援」と題して講演がありました。

ジェットロは経産省傘下の独立行政法人として、国の輸出政策や海外企業誘致によるイノベーション創出を実行推進しています。日本では生産年齢人口が減少、市場規模が縮小する一方ですが、周辺国は経済成長しています。そういった情勢で、日本企業の中でも輸出意欲が高まっていますが、国内取引と海外取引では、制度や規制の違い、距離の影響、文化や言語、通貨や為替など、様々なハードルがあります。そういった問題・課題に対して、ジェットロでは「情報提供とマッチング」でサポートしています。セミナーやWebサービス、個別の相談、商談会等のスポット的支援、オンラインカタログ掲載や、専門家が半年~1年間伴走するコンソーシアムによるハンズオン支援などの継続的な支援の両面に取り組んでいることを説明した後、「新規輸出一万者プログラム」について紹介しました。

そして、まとめとして秋間氏は「国内と海外取引の違いを認識してPDCAを回し続けることが大事」「はじめてのジェットロ利用には、新規輸出一万者支援プログラムがお勧め」「ジェットロでできる事とできない事があることを理解し効果的に使う」ということを挙げ、「まずは気軽に相談ください」と呼びかけました。

次に(株)半澤鶏卵 半澤清彦社長が、「スモッチ(半熟燻製



卵)の香港・ハワイへの輸出」と題して事例報告を行いました。半澤氏は韓国の方の問い合わせから工場見学を受け入れた際、「塩味や燻製の卵を外国の方に食べてもらえる」と気付いたことがきっかけで輸出に興味を持ちます。ジェットロ山形へ相談に行き、香港の商談会や海外取引の勉強会に参加し、様々な支援を受けてきました。

味は好評なのに賞味期限が短い、飛行機の輸送コストが高額、冷蔵品の取扱いが難しい、畜産加工の輸入は手続きが多いといった理由から、30社の香港のバイヤーに断られた時もありました。それでも課題にそって専門家のアドバイスを受けながら取り組み、現在では毎週輸出が出来るようになりました。また、海外展開によって工場の衛生管理の向上や社員のモチベーションアップといった、社内的な成果もありました。

最後に半澤氏は、輸出が継続している要因として、「あきらめずに挑戦を続けることで、様々なチャンスをつかむことができた」「スモッチの味・燻製の香りなどは、海外にない商品で差別化ができて」「専門家のアドバイスを聞き、リスクをコントロールしながら現地のニーズをつかむことが重要。専門家の持つネットワークや商談会を活用し、新たなバイヤーとの出会いの機会を作ることができたので、サポートしてくれる産学官チームとの連携が大事」と語りました。

参加者からは、「輸出のきっかけ、メリット、デメリットなどが具体的に聞いて大変良かった。このような話は、県内の中小企業の生き残り・今後の成長戦略の好材料だと思いますので、どんどん機会をつくっていただければと思います」「海外展開はとても遠く困難なことと考えていましたが、身近に感じられました。自社ならではの輸出できる価値を考えてみます」「輸出にチャレンジすることによって、社員のモチベーションが上がっているというメリットがあるのは素晴らしいと感じました。ジェットロを含めた支援団体があることは、心強いと思いました」といった感想が寄せられました。

女性が輝く場をつくりたい

～秘めた想いをカタチに。コロナ禍で新たな事業へ挑戦～



11月15日、TISカンファレンスセンターにおいて、第4回女性部例会が開催されました。会場、Zoomと合わせて18名が参加し、共に学びあいました。

今年度の女性部例会テーマは、「気づきと自己変革」です。コロナ禍の中、カフェ事業を立ち上げることで自社への入口を変える挑戦をはじめた(株)山南自動車 取締役専務 佐藤幸子氏が実践報告を行いました。

同社は、南陽市で自動車販売、自動車整備を中心に営んでいます。「地域、お客様、従業員に喜ばれる、愛される、生き残る会社になるために」を理念に掲げ、女性に楽しんでもらえる機会を創出したいという想いからショールームを活用し、様々なイベントやワークショップを企画しながら、地域に根差したお店づくりに邁進してきました。



2020年、新型コロナウイルスの拡がりとともに、対面のワークショップは開催が難しくなり、佐藤氏の周りでは「外食ができない。毎日の食事作りに追われる」という愚痴ばかりが聞こえてくるようになりました。時を同じくして、キッチンカーをつくれぬかという飲食店からの依頼もあり、補助金を活用して車両ラッピング用の印刷機を導入、キッチンカー事業をスタートさせました。1台のキッチンカーが出来上がると、自社でキッチンカーが制作できることを知ってもらい、認知度アップと新規顧客の開拓につなげたいとキッチンカーを活用したカフェ事業を始動。「山南カフェ」と名付け、少しでも外に出て、息抜きしてもらえる機会をつくりたいとマルシェへ出店を重ねますが、カフェの強みをどのように作りだしていくか模索する日々が続きました。佐藤氏は活路を見出すため、ビックサイト展示場で開催されたフランチャイズショーに単身で乗り込みました。

フランチャイズでカフェを展開できないか、その背景には佐藤氏の秘めた想いがありました。イベントや日々の生活の中で、佐藤氏の周りには、障がい児を育てるお母さん、登校拒否から社会への一歩を踏み出したいと願う若者、退職後

の生き甲斐を求める女性がいづの間にか集まるようになっていました。佐藤氏は、少しの時間でも自分自身に戻れるような居場所をつくりたい、女性が輝く場所となるカフェがつかれないかと思うようになりました。働きたい人が働くことのできる時に働く『デコボコ雇用』に取り組むためには、マニュアルの整備と、誰でも働ける環境づくりが必要でした。あるフランチャイズブランドに出会い、自社で展開したいと熱い想いを胸に帰路につきますが、待っていたのは、「車屋は車屋の仕事」という反対でした。

佐藤氏は、キッチンカーを走らせることが本業にもつながるはずと、個人事業主としてカフェを始動させました。半年間で100回を超える出勤をし、キッチンカーの評判と共に社内の雰囲気も変わり、今年4月、経営権を自社に譲渡し、敷地内にカフェをオープンさせました。カフェでは、みんなが「自身の居場所を守りたい」と、絵付きのマニュアルの作成、イベントの企画・運営、ラインを活用した様々なお客様の声の共有など、主体的に取り組んでいます。佐藤氏は「経営者も従業員も皆同じです。一人一人が輝ける場所づくりが大切です。ずっと働きたいと思える環境、失敗を責めるのではなく挑戦できる体制づくりに取り組んでいきたい」と述べました。そして最後に、キッチンカー製作の依頼がきていることを報告し、「カフェを南陽市の良さを発信する場にしたい、自社をキッチンカーづくりの拠点にしたい」と前向きに語りました。

その後、「社員の主体性を発揮させるためにはどうしますか？」をテーマにグループ討論を行いました。前回の女性部例会に参加した2名の方が、経験値を積み、自社の会議にも活かしたいとグループ長に手を挙げていただきました。チャレンジの機運の中で、一人一人が自社について、そして社員について考える実りある例会となりました。

参加した方からは「主体性についてじっくり考える機会になった。会社はどんな居場所かと聞かれ、安心と成長と答えたが本当にそうなれているのか、もう一度振り返りたい」「自主性と主体性を整理し、みんなが働きやすい場を考えるととてもいい機会になった」「熱量をカタチにする行動力に感銘を受けた。熱意を行動に移し、何が何でもやり遂げる責任感を大切にしていきたいと思う」という感想が寄せられ、盛会の中閉会となりました。



企業訪問

地域の魅力とお菓子の物語で オンリーワンのお店づくり

Curio 代表 武田秀勝氏(新庄最上支部会員)



新庄市の洋菓子店Curio(キュリオ)は、オンリーワンを追求した洋菓子や異業種とのコラボ商品、温かな空間づくりが特徴です。地域の特色を生かした商品や食べる以上の価値を追求したお店づくりに取り組む代表の武田氏にお話を伺いました。

“差別化”を目指して

武田氏は、一時は一般企業に勤めるも洋菓子店の夢を持ち、20代に関東で修業。その後新庄市内で10数年の菓子店勤務を経て、2017年にCurioを開業しました。

くつろぎのイートイン空間と駐車場スペースを設けるために市街地から離れた位置で開業したため、偶然の来店は期待できません。そこで、選ばれるお店となるために、ナンバーワンよりオンリーワン、「より優れたもの」ではなく「別の良いもの」を追い求める、いわば“差別化”のお店づくりを進めました。

価値創造と地域活性化

取り組みの柱の一つがコラボレーションです。市内の花き店と連携したハーバリウムと洋菓子の詰め合わせセットの販売や、ドリンクメニューに同じく市内のコーヒー店とコラボしたスペシャルティコーヒーを提供するなどの取り組みのほか、店内で販売している新庄養護学校の生徒による手作りの皿はイートインでも使用しています。

大事にしているのは、価値創造と地域活性化につながるかどうかです。異業種とのコラボは「食べる」以外・以上の価値を生むほか、お客様に「この地域にこんなお店があったんだ」と地域の魅力を発見してもらい、回遊性が高まることも期待しています。

「雪ばななケーキ」もコラボから派生した取り組みの一つです。戸沢村の新名物「雪ばなな」は、温泉の熱を利用したほぼ農業不使用栽培が特徴のバナナですが、武田氏はコラボ先のコーヒー店から「生産者側が、規格外で出荷できない雪ばななの使い道を探しているらしい」と打診を受けました。価値創造につながる商品となるよう試行錯誤を重ね完成した「雪ばななケーキ」は、皮まで使い、日持ちのための加工よりも素材の味を重視した製法を採用。味や見た目の

ばらつきもあえて生かすパウンドケーキになりました。地元農業のアップサイクルにも貢献するこの商品は外部からも評価され、メディアにも取り上げられ、今年(一社)ソーシャルプロダクツ普及推進協会のソーシャルプロダクツ賞(SPA2023)を受賞しています。

「スワンシュー」復活もコラボがきっかけでした。「スワンシュー」は、2006年に店主の逝去で惜しまれつつ閉店した新庄市の喫茶店「三条茶房」の名物メニューでしたが、復活に向けて活動していたコラボ先からの依頼を受け、試作をスタート。現代の味覚に合わせたアレンジで2019年に販売を開始すると、当時を知る市民の方々や当時のレシピ提供などで協力していただいた店主の家族からも喜びの声を受けるなど、コラボがきっかけで地域の文化復活に貢献することができました。

思いを伝える

アフターコロナ社会における購買活動の変化、原材料の高騰等、洋菓子店を取り巻く環境も大きく変化しています。コロナ明けで休日のマルシェが活況の一方、ある調査では4割の人が「不景気時はまず菓子類を買い控える」と回答しているなど、業界の先行きには不安要素もあります。

そういった状況で大事にしているのが、一つ一つの商品の背景や、込められた思いを伝えることです。作り手側の思いをしっかりと伝えることで、商品の価値をフルに味わってもらうことを大事にしています。Web上での発信のほか、店舗で配布するリーフレットには、商品ごとに二次元コード(QRコード)が添えられ、各商品の情報やストーリーを知ることができます。

武田氏は今年の7月に同友会の新庄最上支部に入会。取材の最後には「これまで職人として経験を積んできたが、経営者としても勉強するために入会した。ハウツーではなく、経営者の方々が実際に考えていることや取り組んでいることから学んでいきたい」と、今後の抱負も語っていただきました。

12月例会のご案内

山形支部【ミニ報告付き望年会】

田宮印刷、看板下すってよ！

2023.12.8(金) 18:30~21:30

場所：きがるに大衆酒場

山形市香澄町2丁目1-1 2階 ☎023-674-7220

報告者：田宮印刷(株) 代表取締役 阿部和人氏
会費：5,000円(税込)

令和6年1月1日、田宮印刷とフロッタは合併して新会社「フロッタ」として新しい歴史を作り始めます。しかし、118年続いた田宮印刷に終止符を打つことを社員は素直に受け入れることはできません。そこで阿部社長は1年前から9つの「アシタミル」プロジェクトを企画。果たしてばらばらになっていきそうな社員の心はまとまるのか、それはどんな方法だったのか…。望年会前半は阿部社長より合併の背景と意識の統一を人材育成の視点からご報告いただきます。

その後、2023年の振り返りを行い、会員の皆様との親睦を深める機会としたいと思います。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております！美味しい食事と共に大いに語りましょう！

寒河江支部

望年会

2023.12.1(金) 18:30~20:30

場所：串揚げ寒河江だるま

寒河江市南町2-4-2

会費：4,500円(税込)

皆様、いかがお過ごしでしょうか。寒河江支部12月例会は、望年会を開催することとなりました。普段は語り尽くせない悩みや疑問、成果などをざっくばらんに語り合しましょう！ゲストのご参加も大歓迎ですので、是非お誘いあわせの上で参加ください。

さくらんぼ支部

望年会

2023.12.5(火) 18:00~20:00

場所：竈煙 心月

山形県東根市さくらんぼ駅前2-13-7 ☎0237-53-0444

会費：5,500円(税込)

12月のさくらんぼ支部例会は、毎年恒例の“望年会”！

さくらんぼ支部の今年度のスローガンは「会員同士仲良く、腹を割って話そう！」で、声を掛け合いながら、みんなで一丸となって学びあい、内容の濃い活動をしています。

心月さんの美味しい料理をいただきながら、この1年を振り返り、新年の抱負、経営者の熱き思いを語り合い、会員同士の交流を深めましょう。

また、毎年恒例のお楽しみプレゼント交換会も行います。おひとり1品(2,000円相当の賞品をご持参いただきますようお願いいたします。)ご自慢の自社商品 大歓迎です！おいしいお食事と共に大いに、そして熱く語りましょう！

置賜支部

望年会

2023.12.7(木) 18:00~20:00

場所：なみかた羊肉店 めえちゃん食堂

米沢市東2-1-30

会費：5,500円(税込)

皆様、いかがお過ごしでしょうか。置賜支部12月例会は、恒例の望年会を開催することとなりました。2023年を振り返り、来年に向けて熱く語り合しましょう。

ゲストのご参加も大歓迎ですので、是非お誘いあわせの上で参加ください。

庄内支部

望年会&新春交流会決起大会

2023.12.7(木) 18:30~20:30

場所：ル・ポットフー

酒田市幸町1-10-20 ミライニ2階 ☎0234-26-2218

会費：6,000円(税込)

今年もあとわずかとなりました。庄内支部12月例会は、酒田駅前ル・ポットフーでの望年会です！

2023年を振り返り、今の悩み、来年の経営、今後のビジョンを仲間と率直に語り合いませんか？

そして、来年1月19日には同会場『2024新春交流会』が開催されます！盛会に向けて熱く語り合い、意気を上げていきましょう！ゲストさんのご参加も大歓迎！是非お誘いあわせの上で参加ください！

新庄最上支部

忘年会

2023.12.11(月) 18:30~20:30

場所：清清亭

新庄市若葉町9-21 ☎0233-29-2616

会費：5,500円(税込)

今年もあとわずかとなりました。毎年恒例、新庄最上支部忘年会のご案内です。

今回は新庄駅近くの清清亭で、おいしいお酒と料理に舌鼓を打ちながら、今年の成果や課題、来年の抱負、同友会の学び、地域・業界についてなどなど、ざっくばらんに語り合しましょう！ここでだからこそ言える話、聞ける話があるかもしれません。是非お誘いあわせの上で参加ください！

■開会挨拶

川合代表理事が、中小企業家しんぶんに掲載された(株)ソーラーワールドの武内氏が環境問題・地域課題への取り組みを地域とかかわりながら行っている記事を紹介し、自社の事業を活かして地域課題に貢献することは全ての企業にとって非常に大切であるとし、中山幹事長の「同友会運動の目的は人間が人間らしく豊かに生きられる社会をつくることである」という青全交のまとめについて触れ、「このことを踏まえ、自社と地域の活性化に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

■学習会

●コーディネーター:後藤代表理事

冊子「人を生かす経営」の「人を生かす経営とは~中同協「労使見解」作成の経緯と今日的意義~」を読み合わせた後、各社の取り組みについて討議しました。

■報告事項

- 1)中同協第2回幹事会 10/26 Zoom 3名参加
川合代表理事が、「①社会保険料率アップや増税には反対、減税や社会保険の減免を進める②世帯収入アップ・人手不足への対応のため収入の壁は引き上げる」の二点に絞って中小企業家の緊急要望・提言を行うこと、中山幹事長からは上半期の活動の特徴と直面する課題について、加藤副会長からは同友会理念(自主・民主・連体の精神)を自社経営でいかに深めるかと題して問題提起があったことなどが、報告されました。
- 2)北海道・東北ブロック事務局長会議 10/27~28 紫波町
矢作事務局長が、中同協より経営環境と会勢の全国的動向についての報告があった後、各地同友会の活動報告と交流が行われ、翌日はブロック行事のまとめと準備について討議したことを報告しました。
- 3)上半期会計監査報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 4)2023年度10月月次報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 4名入会 1名退会

■討議事項

議題1:11月増強月間について

菅原代表理事より、11月の増強月間に向けた取り組みやHPのアクセス数について確認したこと、11月の同友会を知る会は全県での開催に加え、寒河江支部と置賜支部で開催する予定となっていること、また中小企業の海外展開についての学習会のまとめ、2月に予定しているデジタル化をテーマとした学習会の企画について検討したことなどの報告がありました。

続いて、各支部から増強月間の具体的取り組みについて報告が行われ、経営研究集会へのゲスト参加の呼びかけへの協力依頼がありました。

議題2:第20回経営研究集会について

野口理事より、参加申し込み状況の報告と目標達成に向けての参加呼びかけのお願いがあった後、基調講演の内容とグループ討論のテーマについて説明がありました。

議題3:2024新春交流会について

芳賀事務局主任より、下記の開催要項と実行委員会体制について説

明があり、承認されました。

●日時:1月19日(金) ●会場:ル・ポットフー

●講師:清水康一郎氏 ラーニングエッジ(株)代表取締役社長

議題4:第40回定時総会

実行委員長の大泉理事より、第40回定時総会の副実行委員長に笹林氏と辻氏があたることの報告と、各支部から2名の実行委員選出依頼がありました。また、日程や講師案が提案され、承認されました。

議題5:事務局就業規則の改定について

半澤専務理事より改定案の提案があり、次回理事会までに意見を集約した上で改めて審議することになりました。

■その他

1)今後の予定について

- ・11月9日(木)第28期経営指針をつくる会第5講 (TISカンファレンスセンター)9:00~
 - ・11月16日(木)~17日(金)2023共同求人・社員教育活動全国交流会(鹿児島)
 - ・11月17日(金)山形大学連携授業 (株)高田自動車学校・田村会長報告(山形大学)14:40~
 - ・11月22日(水)幹部社員研修第3講(山形ビッグウィング)13:30~
 - ・11月29日(水)第20回経営研究集会(パレスグランデール)14:00~
 - ・12月2日(土)第28期経営指針をつくる会発表会 (TISカンファレンスセンター)12:30~
 - ・12月4日(月)(仮称)Jobway山形・第2回県内企業紹介セミナー(米沢女子短期大学)16:20~
 - ・12月14日(木)~15日全国事務局長会議(大阪)13:00~
 - ・12月19日(火)東北ブロック事務局員研修(郡山)11:00~
 - ・1月11日(木)共同求人オリエンテーション (TISカンファレンスセンター)
 - ・1月12日(金)~13日(土)中同協第3回幹事会(東京)
 - ・1月13日(土)北海道・東北ブロック代表者会議(東京)
 - ・1月18日(木)~19日(金) 第2回中同協経営労働委員会(東京)
 - ・1月19日(金)2024新春交流会(ル・ポットフー)
- #### 2)今後の常任理事会と理事会日程について

第8回常任理事会	12月6日(水)16:00	第8回理事会	12月13日(水)15:00
第9回常任理事会	1月4日(水)16:00	第9回理事会	1月10日(水)15:00
第10回常任理事会	2月7日(水)16:00	第10回理事会	2月14日(水)15:00
第11回常任理事会	3月6日(水)16:00	第11回理事会	3月13日(水)15:00
第12回常任理事会	4月3日(水)16:00	第12回理事会	4月10日(水)15:00

3)会員の他県同友会での報告について

矢作事務局長より、宮城同友会の経営研究集会にて庄司氏が分科会にて報告したこと、北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会がきっかけとなり、福島同友会から鈴木氏に講演依頼があったことが報告されました。

■閉会挨拶

齊加理事より「今月はいよいよ経営研究集会。まだまだ参加者が目標に届いていない状況なので、ぜひ皆で協力して、ゲスト参加を集め、目標を達成していきたい。よろしく願います」と挨拶がありました。

新会員 紹介

さとう しゅうへい
◇ 佐藤 修平氏
日東インダ(株)山形営業所 所長
業務用計量機器の販売・保守サービス
山形支部

いがらし けんたろう
◇ 五十嵐 憲太郎氏
五十嵐法律事務所
弁護士事務所
山形支部

くわな とおる
◇ 桑名 暢氏
キャリアプロデュース(株) 代表取締役
高校生採用支援事業・採用コンサル事業
山形支部

ぬまざわ たくや
◇ 沼澤 卓也氏
(同)WADAI 代表社員
放課後デイサービス
庄内支部・酒田地区